


University of Shizuoka Magazine

 静岡県立大学広報誌

はばたき



No.148

2024.February

CONTENTS

- p01 特集①
pick up! NEW CIRCLE ピックアップ! ニューサークル
- p05 特集②
OB・OGインタビュー 福山康大さん
- p07 CAMPUS TOPICS
 - ・看護学部がモンゴル国立医科大学看護学部、トルノゴビ県キャンパスと学部間協定を締結
 - ・草薙カルテッドと「有度・草薙地域まちづくり協創協定書」を締結
 - ・環境生命科学科で森林生態系に関するフィールドワークを開催
 - ・薬学部渡辺教授らの発明が日本と米国で特許権を取得
 - ・経営情報学部生がイタリア・パルマ大学(国際交流協定先)を訪問
 - ・しずぶんツアー第6弾「するが文化の散歩道スタンブラリー2023」を開催
- p10 Beyond the World
～静岡県立大学の国際交流～
- p11 研究室訪問
・看護学部 畑中純子教授
- p13 活躍する卒業生 国際関係学部 国際言語文化学科
活躍する在学生 食品栄養科学部 栄養生命科学科
- p14 産学官連携
- p15 はばたき寄金からのお知らせ
- p16 図書館だより
・電子ブックを利用しましょう
・私の一冊の本
- p17 奨学金授与式
- p18 Information
・学長表彰
・令和5年度学位記授与式、令和6年度入学式のお知らせ
・講座情報
・おおぞら基金寄附者ご芳名

pick up!
NEW CIRCLE

ピックアップ! ニューサークル

令和5年度に新しいサークルがいくつか誕生しました。(学生室申
その中で1年生が立ち上げた2つのサークル「なまけもの」と「プ
キーワードに活動しています。どんな思いでサークルを立ち上げた
どのような活動を行なっていくのかを代表の学生に聞いてみました。

看護学部入学後に知り
合った高林佑介さんと宅
野佑弥さん。入学当初か
ら草薙地区に比べて、小
鹿地区にはキャンパスと地
域のつながりが乏しいと感
じていた2人。学生と地



創設者の宅野さんと高林さん

域をつなぎたいという思いから、ボランティアサークル「な
まけもの」を2人で立ち上げました。

「なまけもの」という名前には、学生の本業は学業である
ことから、義務感や責任感を感じずに、学生が「やりたい
ときにやる」ことを優先して、誰もが参加しやすい環
境を作り、長くこの活動を続けていきたい、という思いが
込められています。

—2人は最初に何に取り組んだのですか？

まず、「なまけもの」の存在を地域(小鹿新町)の方に認
知してもらいたかったので、小鹿キャンパス周辺のゴミ拾い
から始めました。ただ、地域の方にその活動の話をして、
反応が薄かったです。

—メンバー集めには苦労したのですか？

声かけも積極的に行いましたが、活動をしていく中で、メ
ンバーになりたいという仲間が増えました。私たちの活動を
多くの人に知らせて嬉しく思いました。

2人を含む7人のメンバーでゴミ拾いを続けていた時、
荒井孝子教授から「スポ GOMI ワールドカップ静岡ステー
ジ」のことを紹介され、男子チームと女子チームの2チ
ームで出場することにしました。結果は参加 25 チーム中、
女子チームが3位、男子チームは優勝、男子チームは全
国大会への出場を決めました。



請のもの)
ロギング部」は共に「ゴミ拾い」を
のか、その経緯やこれから

**「ゴミ拾い」をきっかけに地域とつながり、
地域とともに課題を解決していきたい**

ボランティアサークル なまけもの

—男子チーム、女子チームとも好成績を残した要因を教えてください。

大会前日の下見では、会場となった静岡市の常盤公園・呉服町周辺には、目につくところにはほとんどゴミがありませんでした。そこで人目につかない所に捨てるヒトの心理を考えて、駐車場のフェンスの裏や生垣の中などを探したことで多くのゴミを拾うことができました。

—10月に開かれた全国大会はどうでしたか？

全国大会は新宿が会場でしたが、地理に不慣れなことや、ルールが静岡ステージと違ったことなどから、残念ながら22位という結果でした。しかし、全国でも私たちと同じような活動をしている方がいることが分かり、モチベーションアップにつながりました。

地域とのつながり

スポ GOMI ワールドカップの出場によって、「なまけもの」が小鹿新町の方々に認知されるようになりました。昨年9月に自治会主催の敬老会に直接招待され、高齢者の方々と輪投げやカラオケなどの交流を楽しみました。また12月に行われた防災訓練では、その企画・運営を任せられ、学生目線での訓練を行なったそうです。さらに今年に入り、新年会にも招待されるなど、地域とのつながりが出来上がりがつつあります。

—防災訓練ではどのようなことをやったのですか？

看護学生としての視点を生かした防災訓練にしたいと考え、「災害時に必要なもの」ランキングなどクイズ形式にして、防災を楽しく学ぶことを念頭に企画しました。



駐車場に多かったゴミを拾う女子チーム



静岡ステージで優勝した男子チームと集めたゴミ



小鹿一丁目公民館で行われた防災訓練の様子

参加者からは「こんな楽しい防災訓練は初めて」などと好評でした。

現在のゴミ拾い活動の状況

これまで、「なまけもの」は小鹿と草薙の各キャンパス周辺で週1回の活動を行うほか、静岡駅周辺や海辺などの学外で月1回活動しています。キャンパス周辺の活動では、会社員や静岡大学の学生などが参加してくれるようになり、学外活動においても、会社員や大学生、地域の方、さらには高校生までが参加してくれるなど、SNSによる呼びかけによって、回を重ねるごとに参加者が増えているとのことです。

一キャンパス周辺だけでなく学外の活動を行うのはどうしてですか？

今は、小鹿新町のみなさんとのつながりに注力していますが、今後は、小鹿新町との関わり方をベースに、その他の地域とのつながりも増やしていきたいと考えています。その第一歩としてゴミ拾い活動を通して、それぞれの地域とのつながりを作り、そして地域と関わっていく中で、その特性を知り、そこで見つけた課題を地域の方々と一緒に解決できたら良いなと思っています。

一小鹿キャンパスと草薙キャンパスのゴミ拾いについて教えてください。

小鹿では毎週月曜日の朝8時に看護学部棟入口に集合して、キャンパス周辺を30分程度散策しながらゴミを拾います。草薙は毎週水曜日夜6時にはばたき棟に集合します。草薙では帰宅する学生も参加できるよう、例えば草薙駅に向かうまでの帰り道でゴミを拾ってもらおうなどしています。

いずれも参加者同士がおしゃべりをしながら楽しくゴミ拾いができるよう工夫しています。

一メッセージをお願いします

「なまけもの」は「緩〜く、長〜く」をモットーに、「誰でも」「気軽に」「楽しく」、そして「長く」活動できる環境づくりを目指しています。

また軽い気持ちでゴミ拾いをする中で、そこに楽しさを感じ、最終的には地域とのつながりに関心を持ってもらえれば嬉しいです。

現在、メンバーは看護学部だけですが、広くメンバーを募集しています。また、メンバーにならなくても、週1回各キャンパスでゴミ拾いをしているので飛び入り参加も歓迎しています。

あとがき

高林さんと宅野さんに、「なまけもの」の将来について聞いたところ、「大学生としてやりたいことは全部やってみたい！そこに今しか出来ない活動があると考えています。そして学生目線で地域の方々と積極的に関わっていきたい。」とのことでした。そして将来、仕事で行き詰まったり悩んだりした時に、自身が初心に返ることができる場所として「緩〜く、長〜く」のモットーの通り、「なまけもの」が代々受け継がれていくことを願っていました。



健康フェスタ2023での活動の様子

「なまけもの」では紹介した活動のほかに、静岡市主催の健康フェスタ2023などのイベントで参加者や来場者の骨密度測定や身体測定、栄養指導、運動指導などの活動もしています。

楽しみながら「ジョギング」+「ゴミ拾い」で地域貢献

～“こころ”も“まち”もきれいに～

プロギング部

ープロギングについて教えてください。

プロギングとは、2016年にスウェーデンで発祥した、ジョギングをしながらゴミ拾いをする運動で、現在では世界100ヶ国以上で楽しまれています。プロギングはゴミ拾いの量や速さを競うものではなく、みんなで協力しながらゴミ拾いとジョギングを楽しむものです。プロギングのやり方はいろいろありますが、例えば誰がどの種類のごみを拾うかを決めて、複数人で同じコースをジョギングしながらゴミを拾っていくなどです。

ただ、あまり無理な計画をすると長続きしないので、私は一回の活動でおよそ3kmのコースを1時間程度で回ることを目安としています。

ープロギングを始めたきっかけとプロギング部を立ち上げたきっかけを教えてください。

高校時代、「きくがわ高校生まちづくりスクール」などのイベントに参加し、そこでまちづくりに興味を持つようになりました。

大学入学後にプロギングの存在を知り、まちの活性化に活かせるのではないかと考え、出身地の牧之原市のプロギングリーダーになって、プロギングをはじめました。

現在は牧之原市を拠点にイベントを企画し、地域の方と一緒にプロギングをしたり、静岡市内のイベントに参加しています。

また、大学の友人に、プロギング静岡の代表の方から、「大学でもやってみたら」とすすめられた話をしたら、賛同してくれたことがきっかけとなり、プロギング部を立ち上げることにしました。

部としての初めての活動は、2023年7月に清水区で行われたプロギング静岡のイベントでの補助員としての参加です。今後は静岡市で開かれるプロギングにも参加しながら、草薙キャンパス周辺でのプロギングをメインに活動したいと思っています。

ープロギングの魅力を教えてください。

プロギングの一番の魅力は、ゴミ拾いをするすることで、街が

きれいになり、自分の心もきれいになるという、2つの「きれい」が達成されることだと考えています。

ゴミ拾いという行為が「地域への貢献」と「自己肯定感の高まり」という2つの「きれい」に繋がっていくと思います。

他にも、普通のごみ拾いとは違い、ジョギングをすることによるエクササイズ効果があることや、参加者同士でのコミュニケーションの場となることも魅力であると思います。

ーこの活動でゴミを拾った後、その処理をどうしているのか教えてください。また、これから大学周辺で活動するうえで、解決しなければならない課題はありますか。

牧之原市で活動する時は自分のごみの回収センターに持っていくか、自宅に持ち帰り、そこで分別して家庭ごみとして出しています。しかしながら、大学周辺で活動する場合、ゴミの回収先がまだ決まっていません。ゴミを拾うだけ拾って捨てられないということになってしまうので、まずはゴミの回収先を決めて、活動を始めていきたいと思っています。

ー最後に県大生に向けて一言お願いします。

まずはプロギングについて知ってもらい、できればプロギングを体験していただきたいです。プロギング部では、今後イベントを企画するので、参加してくれると嬉しいです。そして、プロギングが楽しいと感じて、運営にも興味がある方がいらしたら、是非プロギング部にも入ってください。



清水区でのプロギングの様子

静岡醸造株式会社
代表取締役

福山 康大 さん

現在静岡県には、静岡市や県東部地区を中心に30カ所以上の地ビール醸造所があり、それぞれが独自の味のビールを製造していて、全国からも高い評価を受けるなど、静岡県は「地ビール王国」となっています。そんな世界に飛び込んだ、福山康大さんにお話を伺いました。



— 現在のお仕事を教えてください

2021年に静岡醸造株式会社を立ち上げ、現在、クラフトビールを製造、販売する傍ら、静岡市内で飲食店を経営しています。醸造所は駿河区丸子の「駿府の工房 匠宿」の一角に構え、2022年6月から醸造を始めました。5つのタンクで月8回醸造を行い、静岡市内を中心に出荷をしています。また、飲食店では自社ビールのほか県内の地ビールも揃え、お客さんに提供しています。

— この世界にはいったきっかけを教えてください

もともと料理が大好きで、学生時代には料理を覚えて海外で働きたいと考えていました。また、ビールが大好きで、ヨーロッパに留学中もいろいろな国を訪ね、様々なビールに触れる中で、クラフトビールの世界に興味を持ちました。日本に戻るとちょうどクラフトビールの第2次ブームの時期で、さまざまなクラフトビールが国内でも飲めるようになっていました。ビールづくりも料理と同じで、

お客さんに美味しいものを提供して喜んでもらえる点で共通していると感じ、この世界に入ることを決めました。

— 独立して会社を立ち上げた理由を教えてください

大学4年生の時、自分の手でクラフトビールを造りたいと思い、感銘を受けた、現在は伊豆市にある「ベアードビール」でアルバイトをはじめました。そして大学卒業後、そのままベアードビールに就職し、ビール職人になる機会を待っていましたが、クラフトビールの第2次ブームで、競争も激しく職人になるまでの待ち時間が必要でした。チャンスがなかなか回ってきそうもなくもっと多くのチャレンジをしたいと考えていたため、ベアードビールを退職し、東京の日本料理店でサービススタッフとして働き始めました。しかし、あまりの激務に挫折し半年持たずに静岡に戻ってきました。静岡に戻って2カ月間は無職のまま過ごしましたが、縁あって静岡市の「アオイビール」に入り、そこで本格的にビール造りを学びました。アオイ

ビールで5年間醸造担当をしたあと、いくつかのクラフトビールメーカーのビール造りに携わりましたが、「自分が目指すクラフトビールを造りたい」「人生を後悔したくない」という思いから、2021年に会社を立ち上げることにしました。

— 蜂蜜や柚子の皮などを使ったビールを造っていますが、SDGsの取り組みを意識しているのですか

SDGsに取り組んでいるという意識はあまりありません。それよりも「人・地域との繋がりを大切にしたい」という気持ちが強いんです。例えば、蜂蜜のビールを製造し始めたのは、たまたま匠の宿の裏側にある養蜂農家さんから、「蜂蜜を使ってみる?」と声をかけられたのがきっかけです。また最近では川根本町から、柚子を使ったビールを造らないかと話を持ち掛けられて、柚子ビールの製造を始めました。

— 福山さんは、クラフトビール以外の活動をされているということですが

はい、現在はビール造りをしながら、「ポップマン」というコンビを結成し、漫才の仕事もしています。きっかけは非常に単純で、2000円出せば「M-1グランプリ」に出場できることをツイッターで知ったことで、2021年に大学時代の同級生を誘い、コンビを結成し出場しました。その時は、M-1に記念で出てそのまま辞める予定でしたが、たまたま2回戦に進出してしまい、調子に乗って芸人活動を続けることにしました。それ以降はイベントでの司会やステージ出演の依頼もあり、楽しんで漫才活動を続けています。現在は主に、「静鉄ビール電車」や清水区の「まぐる博」といった地元のイベントや、芸術祭などのステージに出演しています。



福山さんにインタビューする学生広報大使の李江華さん(左)と山田美優さん(中)

—青森県出身の福山さんが、静岡県立大学国際関係学部を選んだ理由を教えてください

高校時代に所属した野球部の監督が、私の共通テストの結果から静岡県立大学を薦めてくれたからです。また親戚が静岡に住んでいたこと、兄が静岡大学に通っていたことから、所縁と偶然という感じで静岡に来ました。また、もともと国際的なことが好きで海外で仕事をしたい、外国語を使った通訳や国際関係の仕事に憧れていたことから、国際関係学部を選びました。

—学生時代にはどんな思い出がありますか

大学ではアコースティッククラブに所属し、友人とバンドを組んで活動をしていました。また兄の関係で静岡大学の「静岡ベスト」というサークルに入って、他大学の学生とも交流をしていました。国際交流サークルのような感じで、外国の方と一緒にスポーツをしたり、旅行したりしました。授業は真面目に出ていましたが、私生活では、草薙駅周辺にある飲食店などで毎日のように飲み歩いていて、とても不健康な生活をしていました(笑)。

—スペインに留学したそうですが

もともとカナダが好きで、入学当初はフランス語を学ぼうと思っていましたが、当時の

スペイン語の先生がユニークな方だったのでスペイン語を選ぶことにしました。また、スペイン語を選択していたことから、3年次にスペイン留学をしました。今は交流締結をしているので留学先の単位が認められています。当時は一年間休学をして留学しました。留学期間中にいろいろな国を回り、異文化を経験してきたことが非常に大きな財産になっています。

—静岡県立大学に入って(静岡県に来て)良かったことはありますか

静岡で暮らしていく中で、ここは自分の第2の故郷、ホームタウンとして感じるようになりました。静岡は、のんびりしていて、人々も穏やかで優しく、リラックスできる場所だと思っています。

また静岡に来た当初、見たことのないようなたくさんの種類の魚に驚きました。郷土料理なども多種多様で、季節に合わせて栽培される野菜の種類も豊富にあり、食べ物がとても美味しいところも静岡の魅力です。

—今後の夢を教えてください

クラフトビールに関しては事業を拡大するかどうか、まだ考え中です。まずは、静岡の人に愛される、県外の人にも「静岡は静岡醸造があるからいいなあ」、「静岡醸



造があるから、静岡に行きたい」というようなビールづくりをしていきたいです。また、「芸人としてテレビ番組のレギュラー出演ができればいいなあ」、という淡い期待も持っています(笑)。

—県大生へのメッセージ

学生時代には、可能性がたくさんあって、いろいろな道や進路があります。学生の皆さんには、はじめから可能性を絞り過ぎないで、軽い気持ちでいろんな所に行ったり、経験したりして、自分が思い描く選択肢に触れてみてください。そこでいいなと思えるものと出会えたらラッキーです。可能性を広げるような活動をしてください!

また、可能性や選択肢を広げるためにも、しっかりと勉強をしてください。



看護学部がモンゴル国立医科大学看護学部、ドルノゴビ県キャンパスと学部間協定を締結



ドルノゴビ県キャンパスとの学部間協定締結の様子



MNUMS看護学部との学部間協定締結の様子



静岡県立大学看護学部は、2023年9月12日にモンゴル国立医科大学ドルノゴビメディカルスクールと、2023年10月26日にモンゴル国立医科大学看護学部とそれぞれ学部間協定を締結しました。

これらの協定では、教員や学生の相互交流、共同研究や学術研究のための情報交換などについて取り交わしています。これによって、モンゴル国立医科大学ドルノゴビ県キャンパスおよび看護学部と本学との3学部間の積極的な交流事業を推進していきます。

モンゴル国立医科大学(MNUMS)看護学部との協定締結後には、荒井孝子教授が、MNUMS看護学部2、3年生を対

象にシミュレータを用いた看護技術演習を行いました。さらに、MNUMS看護学部を卒業した1～2年目の新人看護師対象の卒業教育として行われた、荒井教授による看護技術演習、竹熊教授によるリーダーシップ論などの研修を通し、双方の学生、教員の交流が深まりました。

また、学生同士の交流では、まず、MNUMSの学生および本学の学生が相互にプレゼンテーションを行い、日本とモンゴルの医療・看護についての意見交換を行いました。続いて、両国の伝統衣装(本学:浴衣、MNUMS:デール)を纏って、お互いの文化の紹介を行いました。本学学

生は日本の盆踊りを披露し、MNUMSの学生が弓矢の紹介や民族舞踊の披露、馬頭琴の弾き方やモンゴル文字の書き方を本学学生に教えていました。交流は短い時間でしたが、互いの体験を通して、学生同士はすっかり打ち解けていました。

今後、両学部間での学生の交換留学をはじめとして、教員交流や研究・教育などを推進していきます。

草薙カルテッドと「有度・草薙地域まちづくり協創協定書」を締結



握手を交わす山本代表理事と尾池学長

本大学法人と一般社団法人草薙カルテッドは、本学学生の自主的・実践的な地域での学びを支援するとともに、草薙キャンパスのある有度・草薙地域のまちづくりをより推進させるため、「一般社団法人草薙カルテッドと静岡県公立大学法人との有度・

草薙地域まちづくり協創協定書」を締結しました。

草薙カルテッドには本学を卒業した事務局職員がおり、在学中から有度・草薙地域で様々な活動に取り組んできました。その取り組みをより強固なものとするため、組織的な連携の強化を図ることとなり、今回の協定締結となりました。

2023年11月9日に草薙キャンパスで行われた締結式には、大学法人から尾池和夫理事長と酒井敏理事、草薙カルテッドから山本洋平代表理事、花崎年員共同代表ほか職員2名、及び本学関係者が出席しました。

締結式では草薙カルテッド職員で本学卒業生の小林祐介さん(2015年度経営情報学部卒)と西美有紀さん(2015年度経営情報学部卒)が、協定内容の説明を行った後、出席者立会いのもと、尾池理事長と山本代表理事が協定書を取り交わしました。

協定締結を契機に、互いの組織の密な連携をとり、草薙カルテッドの持つ地域牽引力と本学の持つ知見とを掛け算することで、好循環(エコ・システム)が同地域に生まれ、さらに魅力ある地域としていくことを目指します。

環境生命科学科で森林生態系に関するフィールドワークを開催



県内有数の水質を誇る阿多古川での記念撮影



班ごとに分かれて樹木成長の計測実習

2023年9月12～14日に食品栄養科学部環境生命科学科で「フィールドワーク」を実施しました。今年も、文部科学省が認定する教育関係共同利用拠点・静岡大学農学部附属 地域フィールド科学教育研究センター天竜フィールドにて、「森林にお

ける物質循環」を主題とした演習を行いました。同センターの花岡准教授、水永特任教授、栗原特任助教および技術専門職員の方々にご協力いただき、森林生態系における有機物質循環を担う昆虫や動物種の特定、樹木の生長に関わる土壌

特性を調べました。最終日には、グループごとに得られたデータを解析し、討論発表会を行い、森林生態系に関する理解を深めました。

薬学部渡辺教授らの発明が日本と米国で特許権を取得

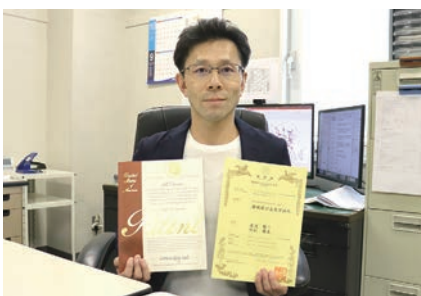
本学薬学部の渡辺賢二教授らの発明が、日本国および米国にて特許登録となりました。発明者の渡辺教授は、本発明を実用化するため、静岡県立大学発ベンチャー「株式

会社アデノプリバント」（本社：愛知県名古屋市）を設立。「コリバクチン検査」を実用化し既に26,000検体以上の実績を上げています。

大腸がんのリスク判定を行う「コリバクチン

検査」の詳細は、株式会社アデノプリバントの Web サイトにて、ご確認ください。

株式会社アデノプリバント
Web サイトはこちら



渡辺 賢二教授

【発明の名称】

コリバクチンおよびコリバクチン産生菌の検出方法および検出プローブ

【登録番号】

日本国：特許第7219473号(2023年1月31日登録)
米国：US11,667,945 B2(2023年6月6日登録)

【特許権者】

静岡県立大学法人

【発明者】

渡辺 賢二、恒松 雄太、佐藤 道大

【発明の概要】

日本で1年間に大腸がんを発症する人は15万人以上おり、罹患率はこの40年で約7倍に増えています。日本のみならず大腸がんの予防や治療は世界的な課題となっています。一方で、大腸がんは、早期の段階で治療を行えば高い確率で治癒できます。本発明は、大腸がんの早期発見を通じて、この世界的な課題解決に資するものです。

現在、大腸がんの検査として一般的な便潜血検査は、有効性の高い方法である一方、潜血を測るため痔や他の病気による出血でも陽性と判定してしまいます。また、潜血を伴わないレベルのポリープは陰性と判定してしまうという点も課題でした。

本発明によれば、便潜血検査と同様に少量の便を採取し、採取した便の中にコリバクチン産生菌がいるかどうかを調べることで、大腸がんのリスクを判定することができます。

経営情報学部生がイタリア・パルマ大学（国際交流協定先）を訪問



旧市街でのフィールドワークの様子

経営情報学部で観光を学ぶゼミ生6名（4年生3名、3年生3名）が2023年9月5日～7日に、本学との大学間国際交流協定校の1つであるイタリアのパルマ大学を訪問しました。訪問の契機は、同大学のマリオ・ベネツィアーニ（Mario Veneziani）准教授が同年5月来学した際に学生と「ガストロノミーツーリズム」に関するディスカッションを行い、同大学を訪問する話がまとまりました。

パルマ市はイタリア北東部に位置し、ミラノから列車で1時間半余りのエミリア＝ロマーニャ州にある人口19万人の都市です。同市の基幹産業は農畜産業と食品産業で、イタリアの「食の都」とも呼ばれています。また「欧州食品安全機関（EFSA）」が設置され、生産から製造、出荷に至るまでのプロセスにおける食品の安全性認証にも関与しています。

こうした地域特性もあり、パルマ大学では「食」に関するあらゆる専門的知識が学べるコースが設置されており、その中に「ガストロノミーツーリズム」も位置付けられています。

今回、学生たちは、マリオ准教授からパルマ旧市街をスタディケースとしたフィールドワークを実践で学びました。ロマネスク様式やルネサンス様式の建物が数多く残る旧市街で、マリオ准教授から「歴史をはじめとした地域の形成過程やその変遷を事前学習で正確に理解したうえで実地調査に着手することが大事」と学んだほか、ガストロノミーツーリズムに認証されている地産地消の飲食店で産地証明を受けた食品（生ハム、パルミジャーノチーズ、バルサミコ酢）を試食し、そのクオリティの高さを実感しました。

また、同大学において「食と観光」による地域経済への波及効果をはじめ、経済学部のカリキュラムポリシーやディプロマポリシーに関する講義を受け、文理融合の学びを通じて学生に求められる専門的知識のレベルの高さ、卒業要件の厳しさを目の当たりにしました。

この間、ガストロノミーツーリズムを学ぶ学生ともランチミーティングを行い、双方の大学での学生生活の違い、研究活動等につい

て意見交換しました。

実質2日間の訪問でしたが、学生たちからは「海外の同世代の学生との意見交換を通じ価値観、人生観、学問への向き合い方の違いに気づかされた」とか、「パルマの歴史の重み、スケールの大きさを感じ、視野が広がった」といった感想が聞かれ、日本では得られない貴重な経験を重ね帰国しました。

今後もこうした取組みを継続させる中で、グローバル化に対応した学生の成長を促していきたいと考えています。



講義を受ける学生たち



記念撮影

しずぶんツアー第6弾「するが文化の散歩道スタンプラリー2023」を開催しました



学生が手掛けたグッズとスタンプ帳

2023年10月7日から2024年1月14日まで、静岡市、焼津市、藤枝市の3市共催で行われた、しずぶんツアー「するが文化の散歩道スタンプラリー2023」に、今年も国際関係学部の細川光洋ゼミが参画しました。

このイベントは、「中勘助文学記念館」

「芹沢銈介美術館」（静岡市）、「焼津小泉八雲記念館」（焼津市）、「藤枝市郷土博物館・文学館」（藤枝市）の4つの文化施設を巡り、スタンプを集めるとオリジナルデザインのマグネットや帆布トートバッグがもらえるもので、同ゼミでは毎年、冊子デザインやスタンプ、グッズなどの制作を手掛けています。

これまでは高齢の参加者が多かったため、今回は若い人にも参加してもらおうとスタンプやスタンプ帳のイラストを流行りのレトロ風にデザインしました。また小さいバッグにも入るように手帳サイズにしたスタンプ帳には、「作家は猫好きな人が多い」という3年生の千装（ちぎら）さんのイメージから、中勘助文学記念館の「にゃかかんすけ」や小泉八雲記念館の「ゆきおんにゃ」など、それぞれの施設にオリジナル猫キャラ

クターのイラストを作成してあしらいました。

スタンプとスタンプ帳のイラストを描いた学生は、「スタンプ帳はカメオをイメージした。ぜひ若い人たちに参加してほしい」と話しました。

*「するが文化の散歩道スタンプラリー2023」は、「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」登載事業です。



細川教授とゼミ生

今号の「はばたき」では、本学のグローバル化3つの視点の内、「キャンパス環境」についてご紹介します。

「キャンパス環境」のグローバル化とは？

キャンパス内でのグローバル化を促進する組織・人的体制を整備するとともに、外国人留学生との交流を積極的に展開し、地域社会に貢献するグローバルな人材を育成します。その一つとして「カンパセーションパートナー制度」があります。こちらの制度は、週1回程度、日本人学生と留学生が顔を合わせ、日常会話を通じて留学生の日本語能力を高めるとともに、県大生との友情を深めることを目的としています。

国際交流センター長
澤崎 宏一 教授



👍 カンパセーションパートナーのすすめ



- ✓ 友達の輪が広がる
- ✓ 貴重な経験ができる
- ✓ 海外の生活習慣や日本の文化について意見を交換することができる
- ✓ 将来交換留学を考えている学生は事前にその国の学生と交流を深めることができる



公式HP
カンパセーション
パートナーについて



富学寮+
国際交流
Instagram

本学のグローバル化3つの視点



教育



研究



キャンパス環境

●グローバル [global] : 世界的な規模であるさま。また、全体を覆うさま。包括的。「一な視点」 出典:デジタル大辞泉(小学館)

世界とつながる教育体制

海外22ヶ国の学校と交流協定を結んでいます。

交換留学や語学研修といった学生交流から教員の研究交流まで様々な交流を図っています。

協定校各国 (2024年1月現在) ※協定校について詳しくは下記二次元コードからホームページをご覧ください。

アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、インドネシア、オーストラリア、カナダ、スペイン、タイ、大韓民国、中華人民共和国、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、バングラデシュ、フィリピン、フランス、ベトナム、ベルギー、マレーシア、モルドバ、ロシア、モンゴル



協定校紹介

Partner school introduction



フィリピン

国立フィリピン大学

1908年創設。主要な理系・文系の各領域に加え、音楽や美術、体育なども学ぶことができる総合大学。開発学、東南アジア学、移民学、ジェンダー学、法学(人権・海洋法)などで国際的に定評がある。本学との協定は、今年度、全8キャンパスに拡大。

交換留学を経験した先輩の声

現在、協定校のフィリピン大学ディリマン校に留学をしています。フィリピンに留学を決めた理由は語学力の向上に加えて、実際に現地生活を通してその国の文化や生活習慣の違いなどを肌で感じたかったからです。キャンパスは広く、自然も多いため、とても過ごしやすい環境です。また、フィリピンは他国に比べて日本から近く、物価が安いので、気軽に外食をしたり遊びに出かけたりできるという点でもお勧めです。はじめは日本との文化や生活習慣の違いに驚くこともあると思いますが、すぐに慣れると思います。留学に迷われている方はぜひ積極的にチャレンジしてほしいです。

水野 葵

国際関係学部 国際言語文化学科3年
[留学期間]2023年9月~2024年2月



外国人交換留学生紹介

静岡県立大学で学び、日本で生活できたことはとても素晴らしい経験となりました。ここで私たちは、学生として、人として成長する多くの機会に恵まれました。生徒や先生が主催する多彩なイベントへの参加や、ボランティア、料理、ガーデニングなども楽しむことができました。私たちが、日本の生活や文化についてたくさん学ぶことができたのは、寮やクラブ・サークルの友人たちをはじめ、多くの人たちとの出会いと交流のおかげです。皆さんが私たちに与えてくれたすべての優しさから感謝します。本当にありがとうございました。

Jerica Fajardo (写真左)

Secondary Education in Health 4年

Tala Roque (写真右)

Fine Arts in Visual Communication 4年

[留学期間]2023年10月~2024年3月



【国際交流・留学】
詳しくはコチラ！



To be continued >>> 次回の協定校紹介もお楽しみに！



看護学部 畑中 純子 教授

一先生が取り組まれている研究について教えてください。また、現在の研究を行おうと思われたきっかけは何ですか。

現在の研究テーマは「産業看護職の現任教育」です。私は保健師として、企業で社員の健康支援を行っていました。保健師になったきっかけは、支援を必要とする人に時間をかけて支援を届けたいというものでした。しかし、大学では産業看護についての授業がなかったので、就職後に産業看護を実践しながら、社員への健康支援のあり方を学習しました。この学習内容で良いのか、学習方法は正しいのかを考え、必要と考えられる社外の学習グループに参加したりと試行錯誤しながら学んでいました。

時代は流れましたが、未だに大学や専門学校での産業看護に関する授業は十分ではなく、現任教育の充実が求められています。産業看護職の誰もが社



員の健康支援に必要な知識や技術を学べる教育プログラムと教育システムの構築の必要性を感じ、このテーマに取り組んでいます。

一先生の研究が、これからの社会に果たす役割についてお聞かせください。

我が国の人口の半分以上が働く人々です。その人たちが安全で健康に働けることができるように支援するのが産業看護職です。産業看護職の現任教育プログラムと継続教育システムの構築は、働く人々への健康支援を適切に行うための知識と技術の修得を可能とし、働く人々の安全かつ健康の保持増進に役立ちます。

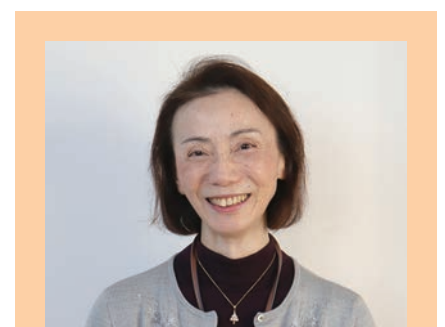
また、現在多くの産業看護職は大企業に在籍しています。現任教育により産業看護の知識と技術を持った産業看護職が増えることで、中小企業で働く人々へも健康支援が広がっていくものと思います。すべての働く人々へ健康支援が届くようになることを期待します。

一研究をしているなかで、学生の成長を感じるのとはどのような時ですか。

学部生のほとんどは初めて研究に取り組みます。研究のテーマとなる自分のリ

サーチクエストを明らかにして、その課題を解決するための研究方法を検討し、結果を導き出すプロセスを学ぶ中で、学生が課題に対する視野を広げ、深く考えて自らの気づきを得る姿に成長を感じ嬉しく思います。

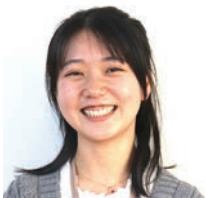
大学院生は1年以上をかけて自分のテーマの研究に取り組みます。その過程で悩み、混乱し、壁に突き当たったり袋小路に入り込んだりと様々な困難を経験します。それを乗り越えていく様子や、論文をまとめて、更に次のステージにチャレンジしようとする姿をみると成長を感じるとともに頼もしく思います。



畑中 純子 教授

千葉大学看護学部卒業後、助産師として病院勤務。1995年に保健師として NTT 東日本に勤務し、社員の健康支援を行う。2011年退職後、四日市看護医療大学看護学部にて教職に従事し、2020年から現職。2007年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究所にて修士、2017年岩手県立大学大学院看護学研究科にて博士の学位を取得。

大学院看護学研究科
博士前期課程
2年
坂本 明海さん



一ご自身から見て感じる、畑中研究室の魅力や、他の研究室にはない特徴についてお聞かせください。

畑中研究室では、公衆衛生看護の中でも労働者の健康管理、心身の健康を守る産業看護を専門に学ぶことができます。そのため、保健師経験者や保健師を志す学生はもちろん、働く

人の健康をテーマに研究をしたい看護職まで、広く門戸を開いています。また、研究に行き詰まったときに、気軽に相談に行けるのも、魅力の一つだと感じています。

一ご自身が行われている研究についてお聞かせください。

40歳未満の若い労働者における、現在の生活習慣と健康への関心、労働環境との関連について研究しています。

近年、若者の生活習慣の乱れや生活習慣病の若年化が指摘されるようになりましたが、実際には障害や病気に罹る人はまだ少なく、働き盛りといえる年齢層です。そのため、若年労働者の生活習慣形成には、労働生活を取り巻く環境や

健康への関心など、様々な要因が影響していると考え、それを明らかにできればと考えています。

一将来の目標・希望進路についてお聞かせください。

行政保健師の内定をいただいているので、人々が好きなこと・やりたいことをいつまでも続けるための資源である「健康」を守り、支える一員でありたいです。また、人の健康は途切れるものではないと考えているので、「行政・産業・学術研究機関が連携して人々の健康を守り、支える」といった、社会の仕組みの整備に微力ながら携われればと思っています。

看護学部
4年

松本 花奈さん



一ご自身から見て感じる、畑中研究室の魅力や、他の研究室にはない特徴についてお聞かせください。

畑中研究室の魅力は、学生の主体性を尊重しながらも、研究内容が本来の目的から逸脱しないようにサポートをしてくれることです。本来は自身の主観が研究内容に影響が出てしまうのですが、先生のお陰で中立性を保ちながら研究を行うことが出来ました。また、先生の専門である

産業保健以外の分野であっても、学生の「知りたい」を尊重してくれるので、これまでの学びを更に深めるための研究ができ、非常に魅力的だと思います。

一ご自身が行われている研究についてお聞かせください。

本学には、生活に困っている学生への食糧支援と困りごと等の話を聞くボランティア活動「たべものカフェ」があります。私は1年生からこの活動に携わっていく中で、学生から「居心地がいい」「また来たい」等の声を聞くことがあり、この活動には食料支援だけでなく、自分らしく過ごせる場所(居場所)である「サードプレイス」に似た機能もあるのではと考え、「たべものカフェ」と「サードプレイス」の比較から、「たべものカフェ」の特徴や学生への健康の影響について研究しま

した。研究結果から、「たべものカフェ」は「サードプレイス」の特徴を兼ねる一方、学生の「身体的、精神的、社会的健康」のために必要であるという、特有の機能も持っていることが分かりました。

一将来の目標・希望進路についてお聞かせください。

これまでの活動や研究から、人間には居場所が必要であり、そこは人々の身体的、精神的、社会的健康に様々な影響を与えていることを学びました。卒業後はこれまで学んだことを活かし、行政保健師として、生活の主体であり住民の居場所である地域で、そして地域の主役である住民が持つ力を活かせる保健師として活動していきたいと思っています。

畑中先生研究室 4名



活躍する卒業生

The graduate who plays an active part



Q1.現在の仕事について、どのような内容かお聞かせください。また、仕事でやりがいを感じる時はどのような時か、お聞かせください。

公立高校で英語を教えています。やりがいを感じるのは、工夫を凝らした授業内容に生徒が楽しそうに取り組んでいるときです。多様な優良学習コンテンツが利用可能である今日、学校で大切なことは、仲間との対話を通して、知的好奇心や問題意識を持つきっかけ

を提供することだと考えています。教員はそのファシリテーターとして、どんな目的でどんな問いをかけ、どのタイミングで活動をさせるのかにこだわるようにしています。

Q2.大学生生活(研究やサークル)で印象に残っていること、今の仕事に影響を与えたことを教えてください。

私は、「第二言語習得」について研究するゼミに所属していました。効果的な英語教育を考えていく中で、正しいとされていることを疑い、仮説を立て、検証するという視点を養うことができたと感じています。英語教育は変化が激しく、現在理想的であるとされている教育方法も、数年後には変わる可能性があります。常に疑問や課題を持ちながら、現場で実践し、改善していくことは、全ての教員に求められる姿勢だと考えています。

Q3.静岡県立大学に入学してよかったことを教えてください。

英語教員になるためには、教育学部で免許を取得するという選択肢もありましたが、国際関係学部に進学したことで、異文化や言語に関する教養を深めることができました。この経験が、現在の授業づくりの幅を広げることにつながっています。また、私自身含め、静岡県出身者が多く、現在でも多くの友人が県内に居住をしているため、卒業後も会いや

すく、長く支え合える仲間を見つけることができたと感じています。

Q4.今後の目標や課題について教えてください。

今年度から「ChatGPT」をはじめとする生成AIが教育現場でも多く活用されるようになりました。便利である反面、指示の出し方やファクトチェックといった留意点も多くあり、模索しています。AIを敵視するのではなく、上手く味方につけ、より効果的な教育を目指していきたいです。また、今後は様々な学校に勤務をすることで、生徒の学力や個性に適した声かけや支援ができるようになりたいと考えています。

Q5.在学生にひとこと、メッセージをお願いします。

大学で学んでいることは、はっきり言って、将来の仕事に直結するものであるとは限りません。しかし、授業やゼミ活動、サークル活動を通じて得た知識や経験は、自分の個性を作り、強みとなり、自信となります。そして、新たな興味のきっかけになり、人生を豊かにしてくれます。大学生生活で、自分の財産となるものに時間とお金を惜しみなく費やし、自己を見つめ、良いところをたくさん発見してください。

活躍する在学生

The current student who plays an active part



Q1.現在、ご活躍されている分野についてどのような内容かお聞かせください。また、その分野で一番魅力を感じる部分はどこですか。

陸上競技の中長距離をやっています。今年度は800mで大学ベストを更新し、目標としていた西日本インカレの標準を切ることができました。また大学1・3年生のときには、しずおか市町対抗駅伝にて、地元沼津市代表として走らせていただきました。中長距離は日々ハードな練習をこなす必要があるため、苦しさを覚えることも多いですが、それが目標達

成につながったときの喜びは何にも代えがたく、一番魅力を感じる瞬間であります。

Q2.静岡県立大学に入学しようと思ったきっかけを教えてください。

高校生の時に、陸上の大会で良い記録を出すために減量したいとの思いから過度な糖質制限を行い、疲労や怪我によりトレーニングが継続できなくなってしまったという経験があります。その際に、試合で自らのパフォーマンスを最大限に発揮するためには食事が大切であることを実感し、スポーツ栄養の分野に興味を持つようになり、管理栄養士養成の学科がある静岡県立大学への入学を決めました。

Q3.私生活や学業と活動はどのように両立されていますか。

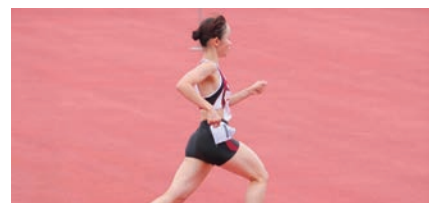
今年度から研究室に配属され、3年生までと比べて陸上の練習に充てられる時間がかなり少なくなりました。しかし、そこで陸上競技を諦めるのではなく、そのような限られた時間の中で目標を達成するためにはどのような練習をするべきかということ、日々考えながら過ごしています。また、研究活動で苦しいことがあっても、部活の仲間と汗を流すことでリフレッシュでき、前向きな気持ちになっています。

Q4.活動をやっている苦労したこと、そこから学んだことなどあれば教えてください。

研究室に配属された当初は慣れない生活で心に余裕がなく、陸上競技の練習に割く時間さえも惜しんで必死に研究に取り組んでいました。1人で練習することも多くなり、モチベーションの維持に苦しんでいましたが、同じように研究活動に取り組んでいる部活の先輩方に声を掛けていただき、時間を合わせて一緒に練習するようになってから記録が伸びるようになりました。陸上競技は楽しむことが何よりも大切であると感じました。

Q5.今後の目標や課題、将来の夢について教えてください。

来年度からは大学院に進学します。さらに忙しい日々になると思いますが、今までと変わらず、陸上競技と学業を両立しながら頑張っていきたいと思っています。そして自らの経験を活かし、将来は管理栄養士として、スポーツに取り組む人々を支えていきたいと思っています。





本学の大学発ベンチャーは、これまでに 12 社が起業しています。

経済産業省の最新調査では、全国の大学発ベンチャー数は、3,782社。政府は2022年をスタートアップ元年と位置付け、その具現化スケジュール「スタートアップ育成5か年計画」では、「1大学50社起業し、1社はエグジット(IPO、M&A)を目指そう」という運動を展開するとしています。

大学の持つ3つの機能「教育」「研究」「社会貢献」。うち、各大学がその特色を活かして注力している「社会貢献」。その中でも「産学連携(共同研究など)」や「大学発ベンチャー」による教員の研究成果を社会実装化するための支援は、重要な取組みとなっています。

インキュベーションセンター「KENDAI-BASE」の開設

この2月1日に、インキュベーションセンター「KENDAI-BASE」を開所し、新たに起業した本学発のベンチャー「DigSense」が入居しました。

これまで、本学のインキュベータは3室ありましたが、すでに満室で、今後起業を控える教員もいるため、これまでの荷物置場を転換し、ローパーティションで区切っただけの簡素な施設を創設しました。

一棟丸ごと建ててしまうような景気の良いことはなかなかできませんが、既存の低稼働施設を工夫して有効活用することにしました。

今後、様々な外部組織とも連携を取りながら、本学に無いリソース(ヒト・モノ・カネ)については、外部TLO、VCを有効に利用することで、本学の持つ研究成果の社会還元を支援していきます。



副学長
(産学官連携推進本部長)
酒井 敏

「合同会社 DigSense」で何をを目指すのか

このたび「DigSense」を起業し、本学認定ベンチャー第12号の称号を得ました。社名には、“おいしさ”という一見曖昧な感覚(Sense)を科学やAIによって深掘り(Dig)、みえる化し、食産業で活用できる新技術を開発するという意味が込められています。

大学と企業の共同研究では、得られた成果が社会実装に至るかどうかは企業側に委ねられます。通常は大学側に決定権はありませんが、自ら事業を運営することで、研究成果をより多くの企業が活用できるサービスや商品に落とし込むことが可能となり、持続可能で豊かな社会の実現に直接貢献できます。

また、学生に対して起業や経営の実態を間近で見せることは、産業構造、経営戦略、仕事の責任などを学ぶ貴重な機会となります。大学発ベンチャーにはそのような教育面での意義も期待できるため、緊張感を持って運営していきます。



食品栄養科学部
准教授
伊藤 圭祐

私は、伊藤先生が主宰する食品化学研究室に在籍している4年生です。これまでの研究成果を社会実装するために、伊藤先生と一緒に起業しました。

弊社は当初事業として、「AIによって対象食品のおいしさ表現に活用可能なキャラクター言語を予測し、フレーバーホイールとして提案するサービス」の提供を開始しました。本サービスは、研究開発やマーケティング、営業など、様々な食産業現場で、“おいしさのみえる化ツール”としての利用が可能です。

既に多くの企業様からお問い合わせをいただいております。各社への導入を進めています。弊社サービスに興味があれば、是非、HPよりお問い合わせください。

URL: <https://digsense.co.jp/>



食品栄養科学部
4年
辻 凌希

本学認定ベンチャーの情報は、
本学 Website から御覧いただけます。



問合せ先

静岡県立大学 地域・産学連携推進室
Tel: 054-264-5124
E-mail: renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp

はばたき寄金からのお知らせ

「第27回文芸コンクール」、「ビデオレターコンテスト」の開催

はばたき寄金主催で第27回文芸コンクール及びビデオレターコンテストが行われ、文芸コンクールでは俳句20句、短歌30首、イラスト1件、写真8件の応募があり、ビデオレターコンテストでは1件の応募がありました。各部門の受賞は次のとおりとなりました。



文芸コンクール、ビデオレターコンテスト受賞者



受賞の様子

文芸コンクール 受賞作品

部門	受賞	作品名	氏名	所属
短歌部門	最優秀賞	割り箸	大長 薫	薬食生命科学総合学府
	優秀賞	右から	大長 薫	薬食生命科学総合学府
	優秀賞	季節	岡村 悠真	薬学部
	佳作	一人	大場 有喜	国際関係学部
	佳作	映画	大長 薫	薬食生命科学総合学府
	努力賞	野菜撮取	大長 薫	薬食生命科学総合学府
	努力賞	登山	小川 真依	食品栄養科学部
俳句部門	最優秀賞	四季と恋	鈴木志絵里	薬食生命科学総合学府
	最優秀賞	十五夜	古澤 悠未	経営情報学部
	優秀賞	夜	岡村 悠真	薬学部
	優秀賞	帰路	小川 真依	食品栄養科学部
	佳作	蝉	大長 薫	薬食生命科学総合学府
	佳作	祖父	岡村 悠真	薬学部
	佳作	日照り	小川 真依	食品栄養科学部
	佳作	私の夏休み	古澤 悠未	経営情報学部
	佳作	県大生の秋	古澤 悠未	経営情報学部
	佳作	桜	古澤 悠未	経営情報学部
	努力賞	かき氷	岡村 悠真	薬学部
	努力賞	友の顔	岡村 悠真	薬学部
	努力賞	海沿い	岡村 悠真	薬学部
	努力賞	蚊	大長 薫	薬食生命科学総合学府
	努力賞	風	大長 薫	薬食生命科学総合学府
	努力賞	傍惚れ	小川 真依	食品栄養科学部
	努力賞	雨ふり	小川 真依	食品栄養科学部
努力賞	なまけ	小川 真依	食品栄養科学部	
努力賞	山の日	古澤 悠未	経営情報学部	
イラスト部門	優秀賞	ページをめくる冒険	堀内 泉美	経営情報イノベーション研究科
写真部門	最優秀賞	朝焼け（燕岳山頂付近）	小川 真依	食品栄養科学部
	優秀賞	血脈（東京スカイツリー）	金 笑 杰	国際関係学研究科
	優秀賞	散歩（蓮華寺池公園）	古澤 悠未	経営情報学部
	佳作	僕が見たかった青空（石垣島の家の近くの海）	藤原 倫	国際関係学部
	佳作	あなただけを見つめて（磐田市福田）	増田 梨那	看護学研究科
	努力賞	卵（県大構内）	鈴木志絵里	薬食生命科学総合学府
	努力賞	Japan（富士宮浅間神社）	李 江華	国際関係学研究科
	努力賞	船上から見たトロント（トロントアイランド）	中林 陽花	薬学部

ビデオレターコンテスト受賞作品

受賞	作品名	氏名	所属
最優秀賞	私の県大の推し	堀内 泉美	経営情報イノベーション研究科

皆様からのご寄付に御礼申し上げます。（敬称略、寄付日の順）

杉山真澄、小林公子、静岡県立大学後援会、創星会

図書館 だより

電子ブックを利用しましょう

皆さんは、本を利用する場合、紙の書籍と電子書籍、どちらを選んでますか？

紙の書籍には、気になる文章やページが見つけやすいほか、ページをめくる音や匂い、手触りなど、独特の魅力があります。一方、電子書籍にも、汚れたり破れたりしない、かさばらず何冊でも気軽に持ち運べる、読み上げ機能を使うと内容を音声で聴くことができるなど、様々な良さがあります。

日本の出版販売額の統計を見ると、紙の書籍の販売額の方が多いのが現状ですが、年々、電子書籍の割合が増加しています。このような中、附属図書館においても紙の書籍の購入を主に進めていますが、草薙図書館では、専門分野の基本的・標準的な教育・研究書や各学問分野に共通する内容の電子資料を少しずつ購入しています。そして、それらは学内 LAN に

接続している端末から利用できるように配信しています。3つの配信プラットフォームのうち KinoDen は、専用のアプリ（無料）を利用することにより、インターネットに接続する環境下であれば、学内外問わず（家庭や旅先でも！）電子書籍の利用が可能です。静岡県立中央図書館においても KinoDen を導入しており、本学所蔵の電子書籍とともに専用アプリで利用することができます。専門書をはじめ、趣味や娯楽に係る書籍など豊富に所蔵されていますので、中央図書館の利用者登録をお勧めします。

自分の目的に合わせて、紙媒体と電子媒体の書籍を上手に活用し、大学生活を充実させてください。

（図書館 HP「電子ブック」

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/library/online-materials/ebook/>）

私の一冊の本

紹介者 経営情報学部 教授 上野 雄史

紹介図書 ホモ・デウス：テクノロジーとサピエンスの未来(上・下)



著者：ユヴァル・ノア・ハラリ著／柴田裕之訳

出版社：河出書房新社

出版年：2018年9月

ISBN：上：9784309227368 下：9784309227375

請求記号：上：209/H 32//1 下：209/H 32//2

私は本を読むことが好きで、小説、歴史書、自己啓発本、専門書など、多岐にわたるジャンルを読んでいます。私が好きなのは本と出会う瞬間です。誰かの推薦ではなく、図書館や本屋での「この本いいな」と感じる瞬間です。そうした時間を皆さんも大事にしてください。

さて、前置きが長くなってしまいましたが、私がお勧めする本を紹介します。それはユヴァル・ノア・ハラリの「ホモ・デウス：テクノロジーとサピエンスの未来」(上・下)です。ハラリは、イスラエル出身の歴史学者で、ヘブライ大学歴史学部の教授を務めています。彼は世界的ベストセラー「サピエンス全史 文明の構造と人類の幸福」で広く知られています。

頻発する紛争や戦争をニュース、報道で目の当たりにして、私はしばしば「人間（ホモ・サピエンス）とは一体何なのか？」と問いかけています。私たちは高度な文明社会を構築し、AI（人工知能）を通じて多くのことを代替し

ようとしています。私たちはどこへ向かっているのでしょうか。

「ホモ・デウス」は、私たち人類の過去・現在・未来を、ハラリなりの方法で（主に歴史学を基礎としつつ、科学技術や人類学的アプローチも含めて）探求しています。本書を通じて、人類が飢餓、伝染病、戦争といった課題をどのように克服し、生活水準を向上させてきたかが明らかにされます。本書を読めば私たちの中に「人間至上主義」、すなわち、自分たちの生命を他のものを犠牲にしても最優先する考え方が根底にあることに気付かされます。

ハラリは、人類の次のステップとして、不死や至福を追求し、「ホモ・デウス（神に近い存在）」を目指していると考えます。ハラリの予測が正しいかはともかくとして、彼の人類史に対する視点は、私たちが現在どのような時代に生きているのかを考察する手がかりとなります。例えば、ハラリが「克服した」と述べた戦争ですが、現在もウクライナやパレスチナのガザ地区では紛争が続いています。

私たちが本当にこれらの問題を克服したのかは疑問です。もしかすると、私たちがこれらの問題を解決したと信じているだけで、実際には再びこれらの課題に立ち向かう時代が来ているのかもしれない。私たちは、進んでいるように見えて、何も進んでいなかった、手に入れたなかったのかもしれない。この本は、そうした問いを投げかけてくれます。



奨学金授与式が行われました



本学では、有意義な学生生活を支援していくために、
 地元企業等の奨学団体の協力による各種奨学金制度を設けています。
 今年度は、地域の地元企業9社から計23名の学生が奨学金をいただきました。
 2023年7月から9月までの間に奨学金授与式が執り行われました。

「静岡ガス奨学金」認定証授与式

7月11日

- 長田 千尋 薬学部 6年
- 進藤はるか 食品栄養科学部 3年
- 加藤 大介 薬学部 4年



「静清信用金庫奨学金」授与式

7月6日

- 紅林 知里 国際関係学部 4年
- 戸塚 和杜 食品栄養科学部 4年

代表者のみ出席

「ロッキー奨学金」授与式

7月25日

- 大浦由起乃 (代表) 薬食生命科学総合学府 修士2年
- 厚見 知花 国際関係学部 2年
- 長屋帆乃花 看護学部 3年

「天野回漕店奨学金」授与式

8月17日

- ZHOU HANG (シュウ コウ) 国際関係学部 2年
- NGUYEN THI THANH DUNG (ゲンティ タインズン) 国際関係学部 3年



「自然の恵み財団奨学金」授与式

9月1日

- 青木 優那 食品栄養科学部 1年
- 池ノ上愛佑梨 食品栄養科学部 1年

「村上奨学財団奨学金」授与式

9月15日

- 清澤 多笑 食品栄養科学部 2年
- 河村 怜夏 食品栄養科学部 2年
- LE THI NGOC TRAM (レー ティ ゴック チャム) 国際関係学部 2年
- 森野 心羽 国際関係学部 2年



「エンケイ財団奨学金」交流会

9月8日

- 佐藤 理絵 薬学部 5年
- 増田 みゆ 薬食生命科学総合学府 修士2年
- ROYHAN FERMANA SIDDIQ ASY SYABANY (ロイハン フェルマナ シディック アシア ジャバニ) 国際関係学研究科 修士1年
- May Phyo Aung (メイ ピョー アウン) 国際関係学部 3年
- Rezquita Adhiny Putri (レズキタ アディニ プトゥリ) 国際関係学部 3年

「スルガ奨学財団奨学金」

- NGUYEN QUYNH CHAU (ゲン クィン チャウ) 国際関係学部 3年

「Sun&Sun総合保険奨学金」

- 上間明香里 国際関係学部 1年

地元企業等による本学学生への奨学金

奨学金名称	給付金額	支給期間	応募資格	令和5年度採用人数
TOKAIグループ富士山育英財団	月額5万円	1年間	全学生(研究生、科目等履修生含む)	採用無し
静清信用金庫奨学金	月額5万円	1年間	静岡県内出身の学部生	日本人2人
静岡ガス奨学金	月額5万円	1年間	学部生・大学院生	日本人3人
ロッキー奨学金	年額20万円	一時金	静岡県内に在住もしくは勤務する勤労者の子弟で2年生以上の者	日本人3人
東海澱粉国際交流奨学基金	月額3万円	1年間	アジアからの留学生のうち修士または博士前期課程の大学院生	採用無し
天野回漕店奨学金	月額5万円	1年間	中国・東南アジアからの留学生のうち学部2~3年生	留学生2人
村上奨学財団奨学金	月額3万円	1年間	学部2年生の者	日本人3人、留学生1人
エンケイ財団奨学金	月額2万円	1年間	学部生・大学院生・アセアン諸国からの留学生	日本人2人、留学生3人
自然の恵み財団奨学金	月額3万円	2年間	食品栄養科学部の1年生	日本人2人
スルガ奨学財団奨学金	月額5万円	2年間	留学生で学部3年生	留学生1人
ビヨンス国際育英財団奨学金	月額1万円	1~4年間	留学生のうち学部1~3年生	採用無し
Sun&Sun総合保険奨学金	月額3万円	1年間	学部1年生の日本人学生	日本人1人

教員活動評価における 業績優秀者への学長表彰

静岡県立大学では、教員の教育研究活動等の一層の向上を図ることを目的として、教員活動評価を実施しています。2023年12月18日、2022年度(令和4年度)の教員活動評価における業績優秀者14人に対して学長表彰を行いました。

学部等	職位	氏名
薬学部 薬学研究院	教授	浅井 知浩
	准教授	小出 裕之
	准教授	柏倉 康治
	助教	山口 桃生
食品栄養科学部 食品栄養環境科学研究院	教授	栗木 清典
	准教授	伊藤 創平
	助教	徳村 雅弘
国際関係学部 国際関係学研究科	教授	石井 由香
	教授	長野 明子
	准教授	森 直香
経営情報学部 経営情報イノベーション研究科	助教	小田 紘久
看護学部 看護学研究科	准教授	加藤 京里
	助教	大和田裕美
短期大学部	講師	松原ちあき

学位記授与式・入学式を次の日程で開催いたします。

令和5年度 学位記授与式(卒業式・修了式)

開催日 令和6年3月19日(火)

令和6年度 入学式

開催日 令和6年4月9日(火)

開場 午前9時10分

着席 午前9時45分

開式 午前10時

会場 グランシップ大ホール 海

静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

(最寄駅 JR東静岡駅 徒歩5分)

※保護者席を用意しておりますので、ご列席ください。

問い合わせ先

TEL054-264-5009 (学生室)

令和6年度(前期) 社会人聴講生募集

出願受付期間：3月4日(月)～3月15日(金)※必着

お問い合わせ：広報・企画室社会人聴講生担当 (054-264-5106)

静岡県立大学おおぞら基金に寄付をいただいた皆様(令和5年1月～12月)

石井雅章、嵯峨野(株)、中村芳則、津富宏、長倉敏靖、山田静雄、(株)静岡県立大学販売協力会、星野知子、看護学部後援会、薬学部後援会、株式会社県大文化通信、静岡県立大学後援会、短期大学部後援会、柘植國輝、林幸子、木村正子、山本六三、船岡利枝子、渡邊順子、小林由美子、福島恭子、山中啓子、小林みどり、山本一馬、木村健一・雄一・紀子、渡邊光、新村友李、白石ひろみ、宇野彩子、経営情報学部後援会、食品栄養科学部後援会、国際関係学部後援会、池田かず江、鈴木さやか、野田洋子、山下浩一、小針進、永田龍祥、石塚康義、家子直幸、西村晶絵、成田九州男、水野壽明、浜瑞紀

※3千円以上、敬称略、寄附日の順、匿名希望7名

はばたき

148号 2024年2月29日発行
発行元/静岡県立大学広報委員会

- 静岡県立大学 教育研究推進部広報・企画室
- 〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1
- TEL/054-264-5130 ■FAX/054-264-5099
- E-mail/koho@u-shizuoka-ken.ac.jp
- URL <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

次号149号は2024年7月の発行予定です。



ご意見・情報をお寄せください。

記事に関するご意見・ご感想、今後取り上げてほしいテーマなど、ご要望をお待ちしています。また、本学の学生、教職員の教育・研究活動のほかご卒業生に関する情報もお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。

広告

県大生応援キャンペーン!!

2024年 〈お申込時にこの冊子をご持参下さい〉

4/1日~6/30日までに
ご入校の方に
**5,000円分の
クオ・カードを
プレゼント!** ¥5,000

※普通自動車で入校の方が対象です
※限定解除の方は対象外とさせていただきます

**古庄は
特典がいっぱい**

学科はオンラインで受講

再検定料一切不要

技能オーバー 3時限保証
※プラス11,000円(税込)で技能オーバー
10時限まで保証します。

スケジュール無料作成

免許は取ったけどしばらく
乗ってないから運転が不安で...

**卒業生特典
ペーパードライバー講習
1時間無料**
※普通車のみ：2・3・8月を除く

お申込みは
フリーダイヤル **0120-155-168** | 携帯からもOK
※チラシを見たお伝えください。

公認 古庄自動車学校

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄3丁目11番15号
TEL.054-261-1551
FAX.054-264-0940
http://www.flushyou.co.jp
Mail:main@flushyou.co.jp





レンタル 2025・2026

成人式 振袖展示会







高品質でお求めやすい!

【当店の振袖アピール】

振袖一式レンタル 55,000~198,000円
「相場と比べて新作もお求めやすい!」
着付け・美容・写真撮影 に関しても安心
「詳しくはホームページをご覧ください!」

静岡県立大学を2025年3月卒業のみなさまへ

卒業式はかまレンタル 2024年6月予約開始!
毎年大人気! 県内トップクラスの衣裳数!
毎年県大草薙校舎でお交際しているお店!



日時:
2024年11月末まで随時開催!
09:30 - 17:00 水曜定休日
来店予約制となります。

場所:
京都むらまつ
静岡市葵区馬場町25-2
※静岡浅間通り商店街

0120-144-081

※3月は卒業シーズンの為、来店不可となります。



店舗ホームページ